

魅力ある学校づくり協議会（志村小）第4回協議会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和2年3月12日（木）午後6時30分から午後7時30分まで
- 2 開催場所 志村小 2階 ランチルーム
- 3 出席者 協議会委員 10名 【欠席者2名】
出席者（志村四中関係者）4名
学校配置調整担当課長、新しい学校づくり課長
新しい学校づくり課学校配置調整第一グループ係長
新しい学校づくり課職員1名

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、健康確認シートの活用や、手指の消毒、至近距離で話すことを避けるため座席に一定の間隔を設けるなどの取組を実施しました。

- 1 開会
- 2 協議会会長 挨拶
- 3 志村四中関係者自己紹介
- 4 協議事項（主な協議や、意見・質問に対する事務局の回答等）

（1）前回協議会の振り返りについて

会 長：志村小を現在の場所に残すことはできないのか、改めて議論したい。
できる限り、多くの意見を頂きたい。

委 員：志村小を現在の場所に残す場合、工事期間が長期化するなどの課題が多い。また、現志村小を改築するために、仮設校舎の代替場所の確保も困難と聞いている。

会 長：志村小を現在の場所に残したいという気持ちは多くの人達の気持ちだと思う。いろいろな意見を出してもらい、それらの意見がまとまっていく中で、方向性を出していきたいと考えているので、委員のみなさんの意見が必要である。

委 員：志村小を残すというのは、志村小という名前が残ればいいのか、現在の場所に残ることなのか、どちらのことか。

会 長：両方だと思う。志村小が現在の場所にあるというのが、昔ながらの町の構成だし、歴史もある。卒業生の気持ちも無視できないし、志村小が無くなった方がいいという人は誰もいないと思う。
ただし、もし志村小の現在の場所で改築できないのであれば、先に進まないといけない。

(2) 前回協議会で挙げられた意見について

①現志村小での改築工事について

○工事期間が6年かかることについて

(事務局より、図面を用いて、現在の志村小の場所で改築した場合、工事が6年かかることについての説明)

委員：6年で終わるのか。難しい印象を受ける。

事務局：最短で6年ということである。安全確保のために、工事時間を区切る場合には、さらに工事期間が延びる可能性がある。

②志村四中関係者の意見

出席者：他の中学校で、校庭に仮設校舎を設置し、同じ敷地内で改築工事を行っている状況を経験している。この環境で困ったことは、「音」、「粉塵」、「振動」である。志村四中の校庭に仮設校舎を設置すれば、志村小の学習効果は高まると考える。

また、志村四中の校庭に仮設校舎を設置した場合、校庭利用が制限されるが、体育や部活動については、工夫することで活動を継続できると考える。例えば、2年前に校庭を全面改修したが、その時には、近隣の小学校の校庭や区立城北野球場を借りて、活動を行った。今年は体育館を改修したが、体育館で行う部活動は、近隣の小学校の体育館を利用させてもらった。短時間の中で、練習を工夫して行い、複数の部活動では、都大会に出場するなど結果も出ている。

昨年、小中一貫教育の取組として、志村小と志村四中で授業を一緒に行った。志村四中の生徒は、小学生に教える体験ができて、小学生と中学生の交流ができた。また先生達も情報交流ができた。

これらのことから、志村小と志村四中の施設一体型小中一貫教育校について前向きに考えたい。

出席者：志村四中を卒業している。校舎の形が特徴的で、他区の人も知っている。あの校舎で学んだ卒業生というのもあるが、校舎の形に対する思いがある。

ただ、30数年振りに、校舎を見たら、確かに老朽化しているとは感じた。新しくなるのであれば、それも良いかとも思う。

志村小が志村四中に移転するとなると、志村二小の近くに住んでいる低学年の児童にとっては、通学距離が遠くなるのが心配である。

また、志村小と志村四中が施設一体型小中一貫教育校になった場合、校庭が狭くなるのではないかとの懸念がある。しかし、校舎を高くして、校庭の面積を確保できるのであれば、問題ないと思う。

事務局：校舎を高くすれば、校庭の広さは確保できる。更に志村小の体育館や校庭をそのまま学校の一部として使用するという選択肢もあると考えている。

出席者：志村小が現在の場所に無くなるのは寂しいとの意見があったが、他の閉校した学校では、その後、ボランティアセンターになっているところもある。何らかの形で学校が残っていれば、卒業生もまた来ることができ、子どもたちや地域の印象も変わってくると思う。

志村四中の校舎の形に対する想いがある人が、この地区には多くいるとは思っている。一方で、板橋区では令和2年度から小中一貫教育が本格実施すると聞いているので、志村四中が新しく変わっていくのを見てみたいと思う。

出席者：いろいろな思いが交錯しているが、小中一貫教育校の形で、課題を解決しながらやっていくのが良いと思う。問題はまだまだたくさんあると思うが、将来的に小中一貫教育を推進するために知恵を出し合っていくのが良いのではないかと考える。

(3) その他質疑応答等

○志村四中との小中一貫教育校について

委員：志村小を残したいという気持ちは、おそらくみんな持っていると思う。

しかし、前に進んでいかないといけないので、葛藤がある。将来的には、志村四中との小中一貫教育校になった方が良いとは思っている。

その場合、やはり校庭が狭くなるのではないかと心配がある。工夫によって解決できると思うが、部活動の時間が削られてしまうのではないかと懸念がある。

会長：志村小を体育館や校庭として利用できるのであれば、運動する場所は確保できると思う。また、水害などの災害の避難場所として、絶対に必要な場所だと思う。

○協議会の進め方について

委員：この会議はあと何回、開催する予定なのか。同じ意見しか出ないので、会議を何回やっても結論がまとまらない。

志村小が施設一体型小中一貫教育校に選ばれた理由は、校舎が老朽化しているからなのか。

事務局：校舎が老朽化しているので、改築工事をしなければならないというのが理由の1つである。また、令和2年度から小中一貫教育を本格的に推進していくのも理由である。

委員：それらの理由があるなら、その方向で話を進めないといけない。地元

は、志村小を現在の場所に残したいという気持ちが強いと思う。しかし、小中一貫教育を推進するなら、その方向で話を進めないといけない。委員の意見を聞くのは良いが、総合的に判断しないといけないのではないかと考える。

会 長：今回の協議会では、志村小を現在の場所に残すことはできないか、改めて議論し、委員のみなさんが納得した上で、次の段階に進むため、振り返った議論になった。志村四中との関わりについて協議する時期に来ていると思っている。

○アンケート案について

(事務局より、アンケート案について説明)

委 員：アンケートに関しては、志村小と志村四中が施設一体型小中一貫教育校になった場合、児童・生徒にとってメリットは何か。施設一体型小中一貫教育校になった場合のビジョンを示した方がいいのではないかと。

事務局：アンケートに関しては、相談しながら検討していきたい。

志村小の保護者向け説明会の実施時期については、新型コロナウイルス感染症の状況によって、今後検討する。

○第4回協議会のまとめ

会 長：今回から志村四中関係者にも出席して頂き、様々な意見を聞くことができた。次回からは、施設一体型小中一貫教育校について議論していくことになると感じている。委員のみなさんもそのように認識されているようなので、そろそろその方向に持っていくべきではないかと思う。様々な課題があるとは思うが、慎重に審議していけたらと思っている。

事務局：一定の方向性を決めて頂いたと思う。そのため、次回の協議会では委員を拡大していく。

5 事務局からの事務連絡

○次回の協議会の日程について

日時については、委員を拡大する関係で、5月の開催を目途にしたい。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、時期が延びる可能性もある。場所についても、調整してお知らせする。

6 次回予定

日時：令和2年5月（予定）

場所：未定